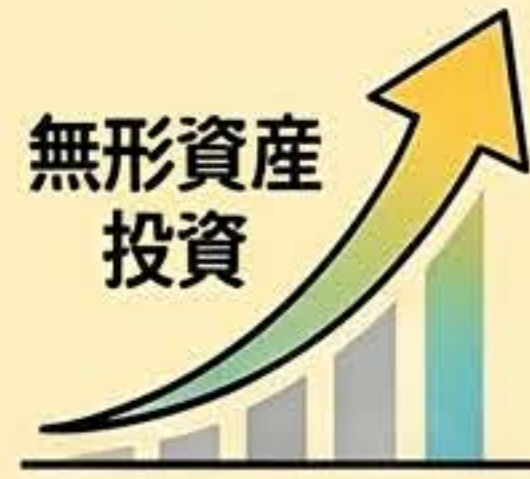


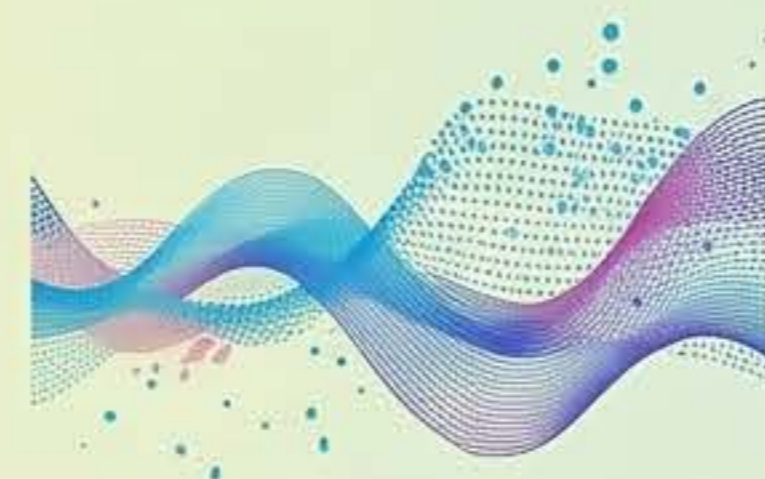
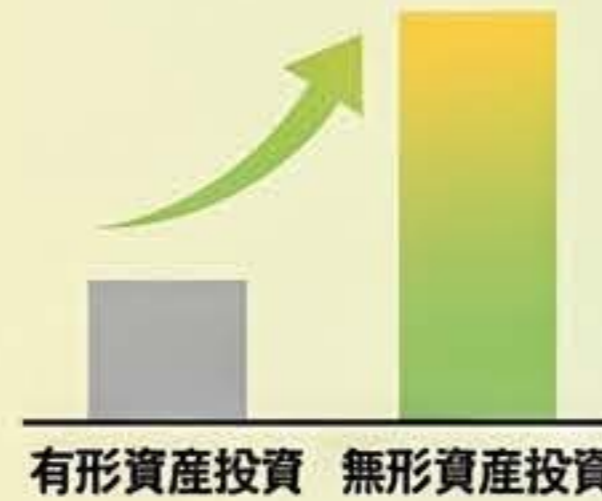
「知的財産推進計画2026」の全体像 ~知財の力で日本の成長を加速~

基本的な現状認識と背景



世界で進む「無形資産投資」へのシフト

有形資産投資が減る一方、無形資産投資は急増し、世界の経済の成長を牽引しています。



生成AIがもたらす産業変革の波

生成AIの社会浸透は、労働市場や賃金水準を激変させるインパクトを持ち、知財市場にも大きな変革を促しています。



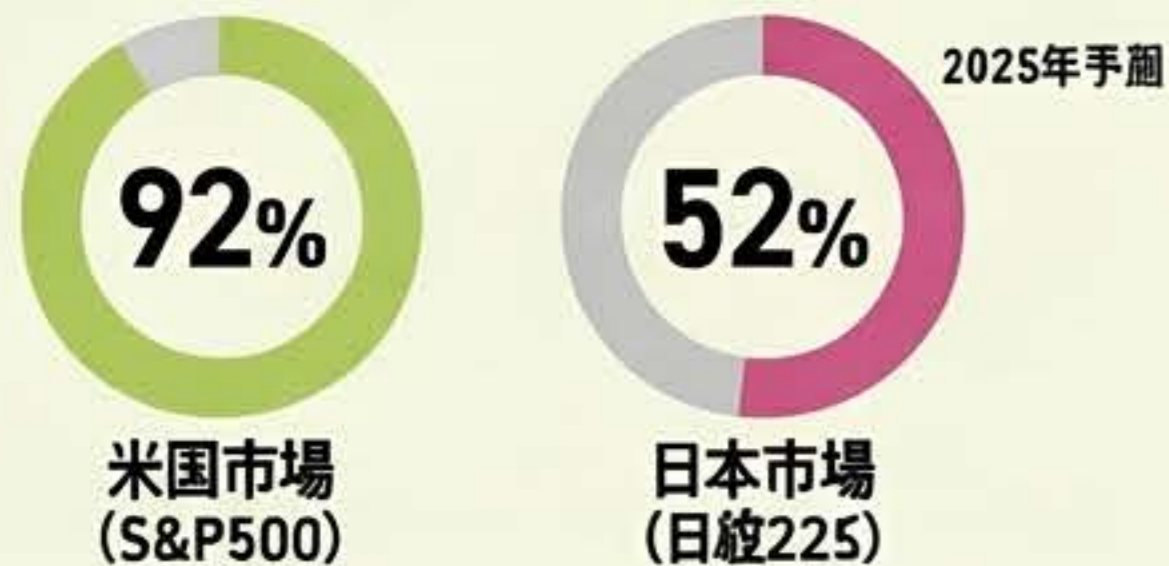
経済安全保障と知財戦略の不可欠性

地政学的リスクへの対応として、技術優位性の確保や国際標準の戦略的活用が、国の自衛性向上に貢献しています。

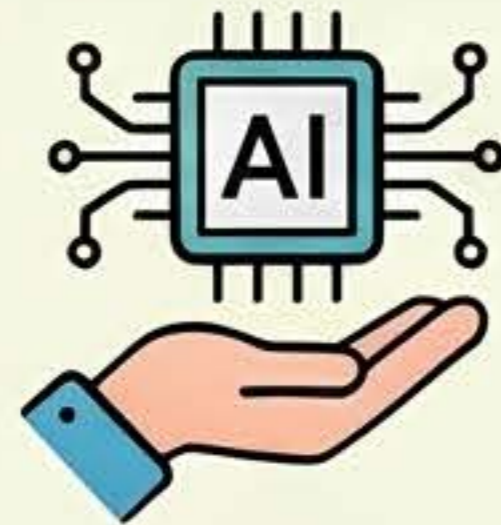


1. 知的財産の「創造」

日本の無形資産割合は米国に比べ依然低水準



特許権に占める無形資産の割合は、米国市場(S&P500)の92%に対し、日本市場(日経225)は52%(2025年予測)に留まっています。



生成AI利活用と知財保護の両立

クリエイターへの対価還元を促す仕組みの構築や、AI時代の新たな知財保護協定(プリンシプル・コード)の策定を進めます。



創造人材の強化とダイバーシティ

博士人材の確保や女性・外国人の活躍促進を通じて、イノベーションの源泉となる多様な人材を育成します。



2. 知的財産の「保護」

営業秘密侵害事犯の急増



2025年の検挙件数は前年比73%増の38件に達しており、意図せぬ技術流出への対策が急務となっています。



海賊版・模倣品対策の強化

SNS上の「誘導型詐欺広告」などの巧妙な手口に対し、官民連携による国際的な執行強化と、正規流通の促進を図ります。



知財紛争解決環境の整備

損害賠償額の算定方法の見直しや、偽造品摘発の迅速化により、偽造品摘発に対する実効的な裁決推進を検討します。



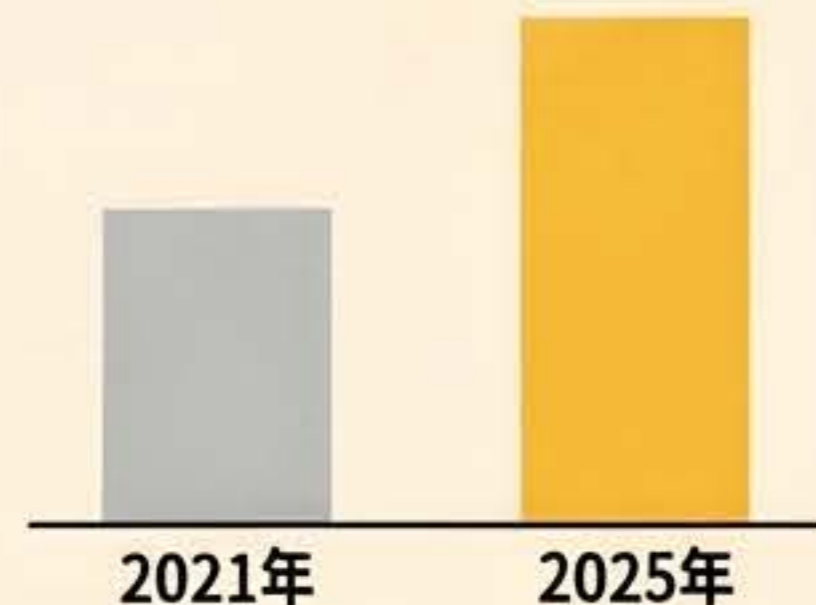
3. 知的財産の「活用」

大学保有特許約8割が未利用



大学知財の社会実装を最大化するため、産学規模のガバナンスガイドライン(大学知財GL)の策定と資金の財源確保を推進します。

スタートアップ数の着実な増加



スタートアップ数は2021年の約1.6万社から2025年には約2.5万社に拡大、知財専門家の活用などで経営資源としての知財活用を支援します。



新たな国際標準戦略の推進

ISO/IECにおける幹事国引き受け数で世界5位以内を維持するなど、日本主導のルール形成を強化します。



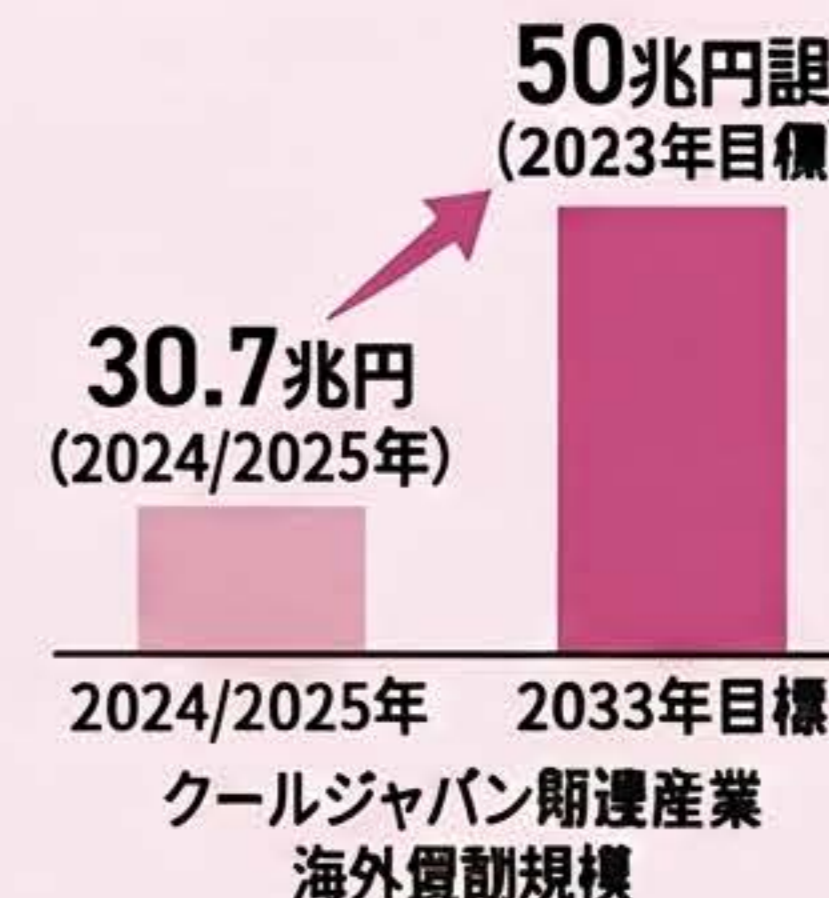
4. クールジャパン・コンテンツ戦略

コンテンツ産業は日本の「基幹産業」へ



コンテンツの海外市場規模は6.1兆円(2024年)に達し、鉄鋼や半導体産業に匹敵する規模に成長しています。

2033年:海外展開規模「50兆円」の目標



コンテンツの海外市場規模は6.1兆円(2024年)に達し、鉄鋼や半導体産業に匹敵する規模に成長しています。

日本コンテンツ海外市場規模



コンテンツ、食、インバウンド、ファッション等を一体的に推進し、クールジャパン関連産業の爆発的成長を目指します。